



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 10月号



【校外での学び】

10月の声を聞くと同時にすっかり秋らしい空気になりました。学校では、現場実習・校内実習、校外学習、修学旅行とたくさんの行事や学習が続いています。

高等部の現場実習では、1年生の職業コースがクレールエステート悠楽さんで集団実習をさせていただきました。清掃やカフェ、施設での実習は、学校での学びを実社会での仕事や卒業後の生活につなげるための貴重な経験です。16名もの生徒を受け入れてくださったことに感謝するとともに、地域の皆様に支えられ、育てていただいていることを、改めて感じています。他の事業所での現場実習や日頃の地域型実習でも、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。



5年生がバスを見送ってくれました。

10/5～は小学部が、12日～は中学部が修学旅行に行きました。コロナ禍のため、ここ数年は泊を伴う行事が難しい状況でしたが、今年は久しぶりにどの学部も従来のような修学旅行を計画しています。日頃の学習を生かしつつ、学校ではできない学び、思い出に残る経験をして欲しいと願いながら、見送りをしました。(校長 梶谷 淳子)

校外での学習を通して

日中も過ごしやすくなり、少しずつ季節が秋になっていると感じます。子どもたちにとっても活動しやすい季節になり、どの学部も校外での学習が計画されている10月です。感染症に負けずに行事を行えるよう、創意工夫をして充実した学習活動を計画しています。

日々の学習はもちろんのこと、校外での学習を計画するに当たっても、子どもたちに付けたい力は何なのか、身に付けた力は学年が上がるるとどのような力につながるのか、卒業後に子どもたちがどのような姿になっているのかといった、子どもたちの成長を見据えて目標や活動が各学部で考えられています。そして事前学習や事後学習も丁寧に行い、力につながる有意義な一日になるように当日を迎えています。それぞれが、「できた」という達成感を感じたり自信につながったりして、付けた力を子どもたちが家庭で「一人で」「一緒に」生かせるようになってくれたらと思います。

今月は、校外学習・校外宿泊学習・修学旅行と多くの校外での行事が続きます。校外での学習は、子どもたちにとって特別感があるようです。日頃と違う表情がたくさん見られました。友達と一緒に過ごす中で、一人ではできないこともやってみようという気持ちになり、達成感と自信、思い出を得ることができました。(肢体不自由部門教頭 妹尾 美樹)



小学部校外学習 おもちゃ王国



小学部修学旅行 神戸・姫路方面



中学部校外宿泊学習 サントピア岡山総社